

各 位

2023 年 7 月 26 日

## アセトアミノフェン錠 200mg「三和」/DS40%「三和」 一部変更承認取得に関するお知らせ

株式会社三和化学研究所（本社／名古屋市、代表取締役社長／磯野 修作、スズケングループ）は、本日、2023年7月26日にアセトアミノフェン錠200mg「三和」／アセトアミノフェンDS40%「三和」の効能又は効果にかかる一部変更承認を取得いたしました。

### 記

アセトアミノフェン錠 200mg「三和」/アセトアミノフェン DS40%「三和」改訂の概要（下線部：改訂箇所）

効能又は効果	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>各種疾患及び症状における鎮痛</u></li><li>○ 下記疾患の解熱・鎮痛 急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）</li><li>○ 小児科領域における解熱・鎮痛</li></ul>
用法及び用量	<p>〈製剤共通〉</p> <p>〈<u>各種疾患及び症状における鎮痛</u>〉 通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1 回 300～1000mg を経口投与し、投与間隔は 4～6 時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日総量として 4000mg を限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p> <p>〈急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）〉 通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1 回 300～500mg を頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として 1 日 2 回までとし、1 日最大 1500mg を限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p> <p>〈アセトアミノフェン錠 200mg「三和」〉 〈小児科領域における解熱・鎮痛〉 通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重 1kg あたり 1 回 10～15mg を経口投与し、投与間隔は 4～6 時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日総量として 60mg/kg を限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p> <p>〈アセトアミノフェン DS40%「三和」〉 〈小児科領域における解熱・鎮痛〉 通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重 1kg あたり 1 回 10～15mg を経口投与し、投与間隔は 4～6 時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日総量として 60mg/kg を限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p>

なお、アセトアミノフェンDS小児用20%「三和」は、効能又は効果に変更はございません。

アセトアミノフェン DS 小児用 20%「三和」の概要

効能又は効果	小児科領域における解熱・鎮痛
用法及び用量	通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重 1kg あたり 1 回 10～15mg を用時懸濁して経口投与する。投与間隔は 4～6 時間以上とし、1 日総量として 60mg/kg を限度とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

以 上

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社三和化学研究所 経営戦略部CSR広報グループ TEL052-951-8130